



パワーネット通信

2020年
12月

第184号

コロナ禍でも採用率UP! 求職者が求めるものとは?



感染症の影響が拡大する中、求職者の見学を受け入れるなど、直接会っての採用活動が難しくなっている状況ですね。そのような状況下でも、求職者と効果的にコンタクトをとるための方法をご紹介します!

◆オンラインの活用

オンラインでの見学や面談を取り入れることで、接触を避けることができる、というメリットがあります。

代表的なオンライン会議アプリにZoomがあります。これらを活用することで、接触を避けつつ、面談ができるだけでなく、スマートフォンなどのカメラを通して、職場の様子を求職者に伝えることができます。多くの求職者が職場の雰囲気や働く職場を決めている中、カメラ越しで社内を見せていただけるだけでも求職者にはとても効果的です。

「Zoomの導入をしていない」という企業様でもご対

応いただけるように、弊社で準備したスマートフォンを使っていただき、遠隔でビデオ電話ができるような対応をしております。

◆現場の職員による説明

見学時は、ご採用担当者を中心に説明をしていただくケースが多いかと思います。しかし求職者からは、仕事内容について「働いている現場の担当者さんから話を聞きたい!」という声をよくお聞きします。

現場の担当者から仕事内容を説明していただくと、求職者の業務理解に繋がります。結果、ミスマッチを防ぎ、離職を防ぐことにもなります。また、職員さんの人柄も伝わるため、求職者に安心感を与えることができます。

新型コロナウイルスの影響が長引くなか、採用・就職活動は今後も厳しい状況が続くと思われます。今後は「withコロナ」で、企業の対応も重要視されています。オンラインで極力リアルな職場環境に近い体験ができるように、採用活動のスタイルを見直していくタイミングかもしれませんね。
(大谷成美)



全社員が仕事も生活も充実した「パワーネットスタイル」を実現するために!

【11月のスローガン:人間関係】「3秒目を合わせる」声かけにあふれる職場の作り方

「社内の人との距離を縮めたい...」「声かけてどんなことをすればいいの?」こんな悩みを抱えていませんか? 挨拶や声かけをしやすいポイントは、「相手と目を合わせること」です。

11月のスローガンでは、相手の目を見て挨拶・声かけをするポイントを確認しました。

① 3秒間、相手の目を見てAOHであいさつする

挨拶をするときは、相手と3秒間目を合わせてみましょう。目を合わせることで、相手も挨拶を返してくれるので相手の表情も確認できます。さらにAOHを意識すると口角が上がり、目じりも下がるので、相手もつられて自然な笑顔になりますよ!

A:明るく

O:大きな声(相手に聞こえる大きさ)

H:ハキハキ(語尾までしっかりと発声)



② 相手の反応や変化に意識して気づく

いつもより元気がない、体調が優れないなど、相手の表情や行動を観察すると気づくことができます。その時その場に相応しい声かけができます。

③ ポジティブな一言を付け加える

目を合わせることに慣れてきたら、挨拶の他にも日頃の感謝や労いの言葉をかけましょう。「体調は大丈夫ですか?」「困っていることはない?」と相手を思いやる一言や「頑張ってるね」「さすが〇〇さんですね!」と労いの言葉を会話の中に入れて、相手も前向きな気持ちになります。

「相手の目を見る」ことは、最初は慣れないかもしれませんが、毎日続けるとだんだん相手もそれに応えてくれるようになります。職場全員で意識すると、チームワークが前よりも向上するかもしれませんね。
(山本彩加)

■休暇のお知らせ

誠に勝手ながら、12/29(火)~1/3(日)まで年末年始休暇とさせていただきます。
1/4(月)より、通常営業致しますので、よろしくお願い申し上げます。

幸せな人生を創るために

未来を創るエンディングノート

人生のエンディングを充実させる"終活"という言葉が一般的になってきましたね。2009年に雑誌でこの言葉が取り上げられてから、自身の終末期や死後のことを考える活動についての認知度と意識が高まっています。

○エンディングノートとは?

終活の取り組みのひとつとしてのエンディングノート。これは、今までの人生を振り返り、人生の最期をどう過ごしたいかをありのままに書き留める、いわば自分史です。

自分自身や財産の状況などの現在までのこと、葬儀やお墓についてなどの将来の希望について書きます。

○なぜ、エンディングノートを創る?

自分への理解を深めるのはもちろんのこと、ノートがあ

れば、残された家族は様々な決め事や手続きを進めやすくなります。

例えば、希望する葬儀の形式や葬儀に参列して欲しい人についてです。ノートという形式のため、一般的な遺言書より詳細を伝えやすいですね。

また、財産についての記載は、「もしも」のときに家族が手続きをする助けになります。

より良い最期を迎えることは、残りの人生をどう楽しむか、ということにつながります。エンディングノートをはじめとする終活は、シニア世代だけのものではなく、思い立ったが吉日、「今」始めても決して遅くないものなのです。
(大野佑輔)

パワーネットでは、「シニアライフ丸亀」としてシニア向けの身元引受事業を行っています。詳しくはこちら→



自分への理解を深めるのはもちろんのこと、ノートがあるように人生があつたのです。小川さんは銀行員の父、洋裁の先生の母のあいだに三人兄弟の末っ子として栃木県に生まれました。勉強が嫌いで、五十五人中、五十四番目。実質ひとりっけつ。そんな小川少年でしたが、高校卒業が近づいてきて、何をしようかと焦りだしましたが、何をしたいかわかりませんでした。そんなとき小川さんの人生を

棟梁の小川さんは七十二歳。宮大工の技術を次の世代へつなげようと弟子たちと寝食をともにする人がいます。宮大工とは、神社仏閣の建築や修復を専門にしている職人です。釘やボルトを使わず木を組み込み、建物を完成させる高度な技術を持った人たちです。全国に宮大工は百人もいません。小川さんはそんな中の一人です。その宮大工を育て、日本の伝統を後世につないでいく鳩工舎は貴重な組織です。

なぜ、小川さんが宮大工になったのか?そこには運命に導かれるような人生があつたのです。小川さんは銀行員の父、洋裁の先生の母のあいだに三人兄弟の末っ子として栃木県に生まれました。勉強が嫌いで、五十五人中、五十四番目。実質ひとりっけつ。



本から学ぶビジネスヒント
快読良書



1400年の技術を未来へつなぐ

宮大工 小川三夫 著 PHP 研究所

NPO法人働く女性研究会より 子ども食堂開催のお知らせ♪

【メニュー】 <要予約!>

クリスマスバイキング

【日時】

2020年12月19日(土)12時~13時

【場所】みら☆スタ広場

(丸亀市七番丁69番地)

【お問合せ・お申込み】

TEL:(0877)55-2921

☆パワーネット地域ボランティアチームが協力しています♪



変える出会いがありました。修学旅行で奈良の法隆寺を訪ねたときのことです。ガイドさんが、この建物は約千三百年前に建てられたもので、と説明した時、ガン!と打たれました。石でもコンクリでもない。木でできた建物がこうして何百年も残っている。いったい誰が、こんなとんでもないものを作ったんだろう。小川少年の目には法隆寺の古い建物がキラキラ輝いて見えました。あなたにおすすめの本です。ぜひ、ご一読を。
(代表 谷淵陽子)

株式会社パワーネット ~人と企業の幸せをつなぐ地域創造企業~

- ・事業内容 : ■ 正社員紹介事業
- 業務を効率化する派遣・アウトソーシング事業
- リーダー研修・生産性向上研修事業

・所在地 : 〒763-0033 香川県丸亀市中府町一丁目 19 番地 1

・連絡先 : 電話 0877-58-0540 FAX 0877-58-0541
Email info@zinzai.net

2020年3月日本でいちばん大切にしたい会社大賞受賞

【表彰理由】

- ①誰でも働ける職場環境整備
- ②働けない人ゼロの活動
- ③残業ほぼゼロ有休90%以上取得



おかげさまで設立22周年を迎えました!!
←ホームページはこちら♪



ご用命の折は、ぜひご一報ください。後悔はさせません。